二年のころ行われる作業である。

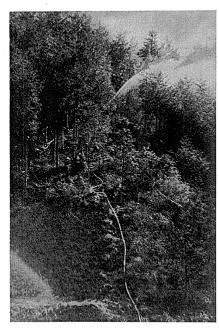
凍土により倒伏したり根が緩んでいるものを、

土を踏みつけ木を安定させる作業で、

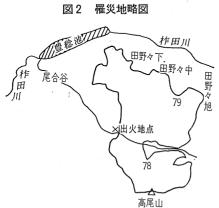
植え付けた年や

二〇年生以後に行われる。

### 第6章 甦える五郷山部分林



町消防団・三豊広域消防による防火演習



(2)

### 表 1 火災による焼失面積 と 被害額

林班	植栽年	被害面積 ha	合 計 ha
78	35	23.60	
	38	31.37	
	42	1.08	56.06
79	33	25.40	
	35	12.90	
	40	13.90	52.26
合計			108.31ha
	,	金額	約 5,000万円
	1	<u> </u>	<u> </u>

(3)

表 2 火災焼失参加団体

消防団	大野原 観音寺仁尾  山本 豊浜 財田   420名
青年婦人	400名
自衛隊 ヘリコプター	280名 1
警官 役場 その他	400名
<u></u>	1,500名
消失被害総額	60, 387, 283円

### 五 き そ (1) 郷 尽 植 の

# 三節 災害とその復旧

五郷山にも次のような災害があった。 き尽くされる恐れがある。次に被害が大きいのは台風による倒木、 植林の災害で最も恐しい のは火災である。 たん火を放てば、 消火手段のな 枝折れ崖崩れ等である。 山林は類焼が免れず、 災害の比較的少ない

## 尾合谷末美谷火災

広がり末美谷の部分林に類焼して行った。火勢鋭く、 ○名が到着し消火に当たったが、火勢はますます強く、一時は田野々地区に類焼の危険さえ生じた。 昭和四十六年四月十三日正午ごろ、 鎮火せず火は猛り狂い遂に、 尾合谷林道付近の開墾地に発生した火事は、 午後五時、 香川県知事は陸上自衛隊の出動を要請した。 大野原町消防団は近郊市町の応援を得て懸命な消火活動を 部分林に延焼して左右の谷に その第一陣一二 かし官民一

328

表3 五郷ダム降水量年表(昭54年)													
日月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1			1	22 2			4		1			11	
1 2 3 4 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 3			2		2	4 6 6 4		19 18	2 1	9	1 1	
5 6	3	27		9	c	3 4	7	3	8			1	
8		9	1	3 17	6 2	4	1 1			4	10		
10	1	2 15	6 8			5	11 1				19 42		
12 13	7	1		1	14 14						6 5		
14			11			$\frac{4}{2}$	8	-	4				
17	7	3	5 6	1 5	6 1	2	27 8 1 6 13 5	1	1	4 166 36	42 14		
19 20	1	3	6 1 7	5 9		1	3	3 10	1	36		3	
21 22						1			3 1		1 26 6	4	
23	0	14 5 2	1 28	8			9		21 12 4		6	17	
25 26 27	3			12	31	36		17 53	4		4	18 1 1	
28 29	3 19	1	20	6		36 69 42 61		JJ	$1 \\ 1$		19	1	
30 31	24		20	6		33		8	140			8	
合計	70	73	103	87	74	263	103	98	234	213	193	65	1,576

表 4 既往15年間最多最少雨量の表(昭40~54)								
既往15年間平均	年	1,363mm	昭40~54					
最多雨量	年	1,859mm	昭51					
最少雨量	年	930mm	昭53					
最多雨量	月	761mm	昭49、9					
最多雨量	日	208mm	昭40、9					
最多雨量	3時間当	90mm	昭54、9					
最多雨量	1時間当	50mm	昭54、9					

T/07 6 . 16 1. 11 6--- /1771-16->

だった。 しい爪跡を残す。 九月三十日に一〇号台風が、 香川県でも大野原は災害の少ない地方に挙げられる。しかし、昭和五十四年は台風の当たり年 続いて十月十七日には二〇号台風が引きつづき来襲した。

大野原町30年のあゆみ

体懸命に撒水防火に当たってようやくその難を免れたほどだった。 下しようがなく徹夜の防火活動が続けられた。 夜に入り和田越及び有松に飛び火して、 手の

翌十四日午前六時陸上自衛隊によるヘリコプターも参加、 さしもの猛火もようやく火勢が衰え、 午後三時ごろには鎮火した。 隊員も一六○名を増援、 空陸一体の強力な消火活動

ったところようやく鎮火したので残火を完全に処理した。その時運よく夕刻降雨となり完全に火の懸念は消滅し ところが翌十五日朝六時ごろ尾合谷付近で再出火、 団員たちは消火に当たる一 方、 防火線を作って警戒に当た

### 山火事防止対策

たので警戒体制を解除した。

ポスター標語による山火事防止宣伝活動

職員の監視巡視の徹底 巡視員の教育

防火訓練の実施 連絡網の完備

火災保険の加入

以上の対策を徹底することにより火災の未然防止に努めてい

# 五四台風による災害

造林にとって第二に恐しいのは台風である。 一たん台風が来襲すると、 倒伏、 枝折れ、崖崩れ、林道崩壊等影

いずれも中程度

に広が

2

ていることが分かり注目されはじめた。

被害額を示すに至った。

その後小康状態を続けていたが

昭和四十八年ごろから再び増加

ï しはじめ、

五十年には二〇〇万っと激甚な

その後昭和二十三年には被害が過去最高の一二三万㎡にも達し

昭和十

年に

なって西日本一帯

59

### 我が (昭59.4) 国 溪間工事 で初めて松く 3 山腹丁重 年度 谷止工床周工 金 金額 ha 0.24 、虫対策 い虫の発生を見たのは長崎県で、 東雲辺70に 5,690 床 2 129.0㎡ 未美谷77,78,79, 2,305 0.25 | 1,57847 48 49 谷1 113.6 東雲辺70い 2,987 51 52 53 明治三十年のころである。 71 22,000 54 内野々69 169 15, 410 71 14 55 西雲辺72 0.10 | 1.243852.926,400 谷 162.7 7,077 土留12.9 697 流路26.1 1,743 谷 1,522 8,231 東雲辺70 56 東雲辺69 57 東雲辺70 58 東雲辺70 谷 182.2 9,384

五郷山部分林治山治水実績表

1,788.5 97,165 0.59 8,511

時間当たり降水量を見ると、 台風と 林道の崩壊、 一四〇貫、 わ れたが、 二〇号は、 渓谷の崖崩れが続出し近年にな - 間降水量は平均一三六三皿で国内では寡雨地帯に属する。 当地方にとっ それぞれ、 一六六・三皿と年間降水量の一〇分の一を一日に降らせたのである。 ては、 九〇皿を記録した集中豪雨であった。 相当な痛手であっ い大被害を出したのである。 た。 それを五郷ダ このため林木の倒伏、 ところが、一〇号にあ ム洪水記録にたどってみよう

# 災害復旧と渓谷の補強工事

る者は中国を制す。」と言い、 清正の越流堤など今に残されている。 の依存は人類の歴史ととも 我が国でも仁徳天皇の淀川の治水工事、 に始 ま つ 「黄河を制す 信玄

資源を涵養する観点から、 単に災害復旧対策としてではなく、 法を制定するなど、 政府は早く 次の表は最近一五年間の工事の実績を示 谷止堰堤等の渓間工事を施しているのがそれである。 ても、 この施策を推進してきた。 からここに着目し、 山腹には土留のための緑化や土留工を施し、 重要課題として努力してきた。 あるいは生活環境保全の観点から治山治水事業 治水対策要綱を策定し治山 平素から災害に備える意味 そこで五郷山部分林にお たものである。 したが って高知営林署 治水緊急措置 渓谷に また水 は



香川県植樹祭

H

折損はも さらに、 果が現れ、

一時間に一〇㎝の割合で水位が下がり、

日の疲労がド

・ッと出るのを覚えた。

このときの当町での被害総額はなんと、

四億七五〇〇万円の巨額に達した。

団員はホッとすると共に連

○本を投入して排水したところ、

の強化を図ると共に、

団員の兼務)

の非常呼集を行い昼夜警戒に当たった。

消防車九台を使って排水した。

ようやく水が減る傾向を示し一同愁眉を開い

た。

そして、

しかし水かさが一向に減らないので、 よいよ危険が増してきたので、

堤をビニー

ル

で覆い堤防

あわせてサイホンニ 時間の経過と共に効

決壊の危機を脱することができ、

肝要であろう。 一軒が「毎日が防火デーですぼくの家」の標語の精神を生かして火元にならないよう、 細心の注意を払うこと

## 水

一七号の影響で、

昭和五十一

年九月八日から降り出

した雨は、

十三日に至る六日間で(十日は最高の一二三・

ったが、 路・河川などに被害が出た。 わけである。幸い人命に被害は無か 量は、 当町での過去五か年間の平均年間雨 一二九三皿であるから、 四八三・五皿を記録した。 山崩れ・ため池の決壊、 三分の一が六日間で降った なん

本部を設置して、 を呈してきたので、 町では、 たが、千歳池が決壊寸前の様相 町長を本部長とする水防 昼夜警戒に当たっ 水防団員





千歳池団員の警戒

決壊寸前の千歳池